

氏名： 刑部 育子
所属： 人間文化創成科学研究科人間科学系
職名： 准教授
学位： 教育学修士（東京大学）
専門分野： 発達心理学・保育臨床学
E-mail： gyobu.ikuko@ocha.ac.jp

◆研究キーワード / Keywords

幼稚園におけるフィールド研究／観察ツール／アートと学習

Field Study in Kindergarten / Observation Tool / Art and Learning

◆主要業績

総数（11）件

- ・Ikuko Gyobu, Masashi Toda, Tomohiro Uemura, & Yuta Kudo (29) "Tool for Collective Analysis of Visual Scenes in Moving Activities", Proc. of World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia and Telecommunications (ED-MEDIA29), pp. 413-418. < ED-MEDIA
- ・刑部育子・戸田真志・植村朋弘・佐伯胖 (29). 観察中の「瞬間リフレクション」記録・分析のためのツール開発. 日本認知科学会第 26 回大会論文集, P3-5, 2pages in CD-ROM.
- ・刑部育子・植村朋弘・戸田真志 (21) 実践をめぐる省察的対話を支援する観察記録の方法. お茶の水女子大学人文科学研究, 第 6 巻, pp. 17-122.
- ・刑部育子・戸田真志・植村朋弘 (29) 行動観察・分析を支援するビジュアルシンキングツール. イノベーションジャパン 29 新技術説明会 (9 月 16 日~18 日展示発表 および 9 月 18 日東京国際フォーラム発表)
- ・刑部育子・植村朋弘・戸田真志 (21) ビジュアルシンキングを支援する行動観察ツール: CAVS (Tool for Collective Analysis of Visual Scenes in Moving Activities) のコンセプトと使用法. 日本発達心理学会第 21 回大会

◆研究内容 / Research Pursuits

(1) 科学研究費(挑戦的萌芽研究)および科学技術振興機構 JST「つなぐしくみ」助成による教育実践フィールドに有効な観察調査ツール開発を進め、その成果を国際教育工学会 ED-MEDIA29 で発表し、28 年度に続き受賞しました。さらにこの観察ツールが事業化(製品化)されました。http://www.seek-feed.jp/cavs/

My research interests lie in the field of education, specifically pre-school and elementary school level. I conduct collaborative researches in the area of children's school activities with school teachers. I'm part of the observation tool development team. This tool is used for field research in education. We will use this tool as follows. In kindergarten, I will observe the activities in the morning session. Then, I and the teachers will meet and discuss my observations in the afternoon session. Here we will design the next program of activities to better suit the needs of the children. This research received an award at the ED-MEDIA 2009 world conference.

◆教育内容 / Educational Pursuits

平成 21 年度学部授業として、「保育臨床学」、「人間関係学」、「保育臨床講義購読」、「保育臨床実習」、「発達臨床特別演習?・?」ほか、を行いました。とくに、平成 18 年度より特別教育研究経費「幼・保の発達を見通したカリキュラム開発」(代表: 浜口順子) が開始されて、大学と附属幼稚園と附属保育所とが連携した教育カリキュラム改革を推進しました。大学院の授業では「保育実践論演習」、「保育臨床学演習」、「乳幼児臨床学特論」を行いました。平成 21 年度に私の研究室から提出された卒業論文・修士論文として「ナーサリーという場でのやりとりと状況における子どものことばの獲得」、「シュタイナー教育の観点から見た子どもの遊びの中の想像力についての考察」「高校生の家庭科「保育体験学習」での学び」、「成長の契機を創出する小学校初任教師の学びのデザイン」があります。

◆メッセージ

お茶の水女子大学敷地内には、日本で最も歴史ある附属幼稚園があります。また、国立大学の中で附属校として初めての保育所、いずみナーサリーが大学と同じ敷地内に設置されました。乳幼児期の教育プログラムを開発するため、大学と幼稚園・保育所が連携した研究プロジェクトが進行中です。このような学習環境が備わる中で実践的にそして専門的な保育・子ども理解・発達を学ぶことができます。